

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.4 億円
		通常砂防事業 かしわたにたに 柏谷谷川		内用地補償費	約0.2 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
多可郡 加美町 豊部			16年度	16年度	18年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び国道427号、老人福祉施設(公民館)を保全する。			・砂防堰堤工 1基 (H = 10.0m, L = 91.0m)		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・柏谷谷川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進み流域内も荒廃しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・流域状況は急峻な地形で渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 ・保全対象: 人家 = 27戸、公共施設 = 国道427号、町道、老人福祉施設(公民館)、寺院 田畑 = 4.0ha				
地域の活性化	・砂防堰堤工事により、土砂災害の危険性を軽減し、地域の主要な道路である国道427号を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家27戸)及び国道427号、町道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・透過型堰堤の採用により渓流の連続性に配慮し、生態系の保全に努める。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家27戸のほか地域の主要な道路である国道 427号、町道がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、豊部地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				